




(公益社団法人) 日本建築家協会 監修
2022年度版 建築工事共通仕様書 改訂概要

全般	• 各章全般に基準、規格、法規及び文章表現の見直			
1 総則	環境に配慮して記載			
4 地業工事	4.2	4.2.3	工法	a JIS A 7201:2021 の改正より、「遠心力コンクリートくいの施工標準」を「既製コンクリートくいの施工標準」に改訂。 b (4) 溶接部の確認方法は、JIS A 7201「既製コンクリートくいの施工標準」の8.3「溶接継手による場合」によることとして改訂。
7 鉄骨工事	7.4	7.4.8	スタッド溶接	b 溶接作業時の環境条件を追記
	7.5	7.5.1	ボルトの長さ	表に M12 に関する数値を追記
		7.5.4	締付け	表に M12 に関する数値を追記
	7.6		普通ボルト接合	新たに普通ボルトに関する節を追加
	7.13	7.13.2	溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合	表に M12 に関する数値を追記
9 防水工事	9.8	9.8.2	材料 9.8.2.1 表	コンクリートの打継目地・誘発目地とは別に耐震スリットの項目を追加。 水廻りのシーリング材の項目を追加。 打継目地・誘発目地の仕上無の場合、シーリング材の種類を MS2 から PS2 に見直し。 コンクリートとタイルとのシーリング材の種類を MS2 から PS2 に見直し。 ※4として、コンクリートにはプレキャストコンクリートが含まれることを明記。 ※5として、ワーキングジョイントの場合、ムーブメント追随性に注意が必要であることを明記。 ※6として、仕上有の場合、ノンブリードタイプを使用することを明記。 ※7として、層間変位角によるムーブメントを事前検討しない場合は適用できないことを明記。
		9.8.4	シーリング材の試験	シーリング材の試験を追加。
10 石工事	10.1	10.1.2	一般事項	工法について湿式、乾式の別を削除 模型作成の材料指定を削除
	10.3		下地	下地に関する事項を新規項目立て
	10.4		仕上げ	10.4.1 表の仕上り厚さを見直し
	10.5		工法	工法種別を全面的に見直し テラゾブロック、擬石の工法を一般石材に統合し項目削除
		10.5.1	外壁湿式工法	b～f を新規項目立て
		10.5.2	内壁空積工法	a～g を新規項目立て
		10.5.3	乾式工法	a～f を新規項目立て
		10.5.4	その他の工法	薄板に関する工法を新規項目追加
		10.5.7	床等の石張り	敷石、階段、視覚障害者誘導床表示を床等の石張りとして項目を集約
		10.5.8	特殊部位の石張り	手摺、笠木、隔板を特殊部位の石張りとして項目を集約
11 タイル工事	11.4		モルタルの調合	既調合モルタル、既調合目地材を追加
	11.5		下地	b の項目を新規追加
	11.6		目地割り及び目地寸法	d の項目を新規追加
	11.7	11.7.1.1	セメントモルタルによるタイル張り	f の項目を新規追加
		11.7.2.6	有機系接着剤張り(内装)	h の項目を新規追加
	11.10	11.10.1	外観の検査・たたきによる検査	接着剤張り工法への対応として文言修正

全般	• 各章全般に基準、規格、法規及び文章表現の見直			
13 屋根及びとい工事	13.6	13.6.2	材料	<p>a 文言追記 和形粘土瓦は袖葉瓦→和形粘土瓦（防災瓦を含む）は（J形 )</p> <p>b 文書訂正 洋形粘土瓦（S形瓦・シパニッシュ形瓦・フランス形瓦など）の種類→洋形粘土瓦（防災瓦を含む）（S形 ) 平板瓦（F形 ) の種類</p> <p>c 文書追記 和形・洋形の別→和形・洋形・平板の別</p> <p>13.6.2.1 表 瓦棧木 文書訂正 幅 21mm</p> <p>13.6.2.1 表 瓦釘 文書訂正 ステンレススクリュー釘（容易に抜け出ないように加工されたもの）又は銅スクリュー釘（容易に抜け出ないように加工されたもの）その他特記による。</p> <p>13.6.2.1 表 文書訂正 緊結線欄削除</p> <p>e 文書訂正 瓦の留付け 瓦の留め付け方法を『昭和 46 年建設省告示第 109 号』の内容に変更</p>
16 建具工事	16.1	16.1.6	共通	漢字、送り仮名の表記方法を統一、誤字の訂正
17 ガラス及びプラスチック工事	17.2	17.2.4	製品検査	JIS 寸法許容差の表記を修正
18 吹付工事	18.1	18.1.4	表面処理	表面処理の種類の変更
19 塗装工事	17.2	17.2.4	製作取付け	アルミニウム製建具の部材（主要部）厚さの表を削除
20 内装工事	17.2	17.2.4	一般工法	<p>c 文書訂正 特記の無い場合は、建具の製造者の仕様による。複層ガラス 納まり追加</p> <p>17.2.4.2 表 板ガラスのクリアランス及び掛りしろの最小限→削除</p> <p>i (1) 文書訂正 板ガラスの切断寸法は 17.2.4.2 表による</p> <p>17.2.4.3 表 文書訂正 17.2.4.3 表→17.2.4.2 表</p>
18 吹付工事	18.1	18.1.4	材料	18.1.4.1 表 文言修正
19 塗装工事	19.1	19.1.9	さび止め塗料及び鉄面の素地ごしらえ	<p>19.1.9.1 表 規格名及び文言修正</p> <p>19.1.9.2 表 文言修正</p> <p>仕様 No7：屋内-各種天井ボード面（アクリル樹脂エマルジョン塗料）を削除して、仕様 No6 へ統合した。</p> <p>仕様 No20 屋内-鋼製建具で、フタル酸樹脂エナメルを削除して、合成樹脂調合ペイントに統合した。</p>
20 内装工事	20.2	20.2.3	工法	粘着剤付きビニルシートは壁紙に含まれることから項目を削除
	20.6		工法	モルタル張り工法を削除
		20.6.1	カーペット敷き	各種名称を正式名称に訂正
		20.6.3	材料	織じゅうたん帯電防止試験方法を見直し
		20.7	工法	項目の整理
		20.7.1	工法	(2) グリッパー工法を追加
		20.7.3	材料	フラットケーブル、フリーアクセスフロア下地の場合の注意事項を追記
		20.8	工法	防虫処理について追記
		20.8.3	工法	ホルムアルデヒド放散量について追記
				g を新規項目立て
				d を新規項目立て